

## 朝日親と子の自然環境教室レポ

戸田 博子

10月16日、今年で5回目になる朝日親と子の自然環境教室が開かれました。直前の天気予報に反して、快晴に近い日になりました。

参加者は小学生・子ども28人、大人27人、朝日のスタッフ10人、当会のスタッフ25人、総勢90人で久しぶりに大賑わいでした。



のに時間がかかりました。子ども1人に大人2人がかりの場面もあれば、1人で3本も切った

子どももあったようです。

次の班と交代してアスレチックでは、のびのびと楽しめました。予想



に反して木登りより、ハンモックが大人気でした。親御さんも、チョットやりたそうだったかな？

その後、皆伐地区に移動し、伐採の目的・里山保全の作業・樹木伐採の利用の話をききました。今回の大きなテーマでしたが、後日の子



エイ！硬いな

ものの感想では、すこし難しかったかもしれません。

伐採木の利用として、薪作りを見学してもらい、機械式薪割り機を子どもに操作してもらいました。

BCに全員戻り、阿部さんによる里山のお話を

聞きました。林内を観察した後だったので、参加者は里山活動をよく理解できたと思います。

各スポットでの説明が、オーバーしないかと心配しましたが、予定通り終了できました。

里山の事を少しでも理解し、楽しい時間が沢山あり、朝日の参加者は笑顔で帰られました。お手伝いの当会のスタッフの方々に、朝日親と子の自然環境教室より、お礼の言葉をいただきました。各班のお世話役、稲刈りの補助、そしておいしい豚汁作りに感謝しています。

千載会長の「また、来年来てね！」に、参加の子どもは大きく「ハ～イ！」

楽しい秋の一日でした。

午前中は黒米稲刈り・稲架がけで、東西から刈り進み、顔が会ったら終了です。予定より早く、11時半に終わりました。



さあ、お楽しみのお昼ご飯、皆さんお目当ての豚汁が出来て休憩になりました。

昼食後、鈴木さんに工事を披露してもらうことにしました。ヘリコプター・風車・竹笛など



豚汁作り

は、みんな興味深々で、目をキラキラさせて聞いています。竹笛は吹ける子あり、音が出ない子あり、大人まで本気で練習しました。

午後は予定より早く開始しました。東側と西側に別れて、里山体験へ出発です。班ごとに説明者とタイム・キーパーが付き、散策路の希少植物や間伐した木のお話を聞きながら、赤松林に移動。皆伐実験したことや実生林になったことの説明を熱心に聞いていました。

そこから遊びの森に少し登り、後半の目玉の小木伐採です。班単位で山本リーダーより説明を受けました。ノコギリや剪定鋏を使ったことがある子はほとんどなく、1本の木を切り倒す